

# 二本松有農研だより 2022年6月1日

6月 早くも6月、6月は田植も終りホツトしていますが果菜類の植付けと此の手入等ですが、田も畑も雑草が沢山芽を出し除草作業がこれから続きます。6月は梅とエンドウ豆の季節です。

サヤエンドウ、スナックエンドウ、グリーンピースと続きます。また大豆の種まきも6月です。今年の春は雨少く春野菜が心配されましたが順調に生育してホツトしております。今まで病虫害が少い春ですが、昨日の朝、キャベツ畑にモンシロチョウが数百匹が舞い今収穫始まったキャベツが心配です。今まで見られなかった青虫がみられました。

6月中旬までに収穫するキャベツは「これ本当に無農薬といわれるほどのきれいなキャベツなのですか」今年はその出番が早いようです。

## コナ

コナは福にふりまわされ、あらゆる集会が中止、人と合つたのが悪事のように思われて、ここにきて、東京の消し者の総会に出席したり。

東京等からの往來があり、交流が再開はじめてました。

日本有機農業研究会の総会が開催予定でしたが、コナで延期になっておりましたが来春には開催しようと歩み出そうと話し合ひ中です。

## 田んぼ

田植が終り深水の田んぼに安達太郎山が映り、カメラマンが何人来て写しています。一部の水田で雑草が見られ、除草キ等で対策も始まりました。昨年は見事に雑草が見えなくなりましたが、一年のみではまだ水と言われないように、今年も万全を期したい。何れも水田は面積が多く、やはり除草剤をへらすことは、環境面からも健康面からも絶対必要なことですので、今年も我々の田んぼを見て下さいと言われ出るように力を合わせてがんばりたいです。

## 注文品

人参ジュース 200g入り 20本 4400円 1kg 6本 5100円

玄米せんべい 10枚入り 370円 ゴマ入、しょう油、塩味 3種

小麦粉 800g 400円 ラビーン 500g入り 500円

梅 白加賀 (大) K 450円 小梅 K 550円 ちりは 7月下旬 1束 120円

◎新タマネギ 収穫はじまりました。春先の乾燥で小ぶりですが、ニンニクと共に長く貯蔵(ながら出荷)はす。バリエーションは、今花盛り実が育ちはじめばかり、中耕土寄せ終り、あと収穫は2ヶ月右位です。

田植を終えた若い水田に、イネミスズコウ虫という小さい虫が群がり葉を食害します。無農薬の田んぼは、いろいろと苦労あります。

# 二本松有機研だより

2022.3.30

大内

二本松有機農業研究会 964-0874 二本松市中里 111-1

春の便りが届かれる候となり

TEL FAX 0243-22-4272

またが、安達太郎山はまだ雪化粧。今の雪の白さが春の陽に照らされ、美しい様相、景色です。今のふもとで本格的に農作業の姿が見られるようになりました。まずは田んぼの用水路の清掃を皆で共同で行います。畑ではじゃがいもの植付です。私の畑では、レタスやキャベツ等の苗が植付けられました。まだ寒いので不織布で覆って育てます。大根、カブ、ブロッコリーも種かれ、今の覆いの中で芽を出しています。4月にすると今の覆いがないだけでも種まきができるようになりそうです。今日は、ビニールハウスの中で1ヶ月以上育てられたナスやピーマンの苗の移植です。移植は大きなストレスがともないます（根を切られるのですから）が、これは社会（畑）に出て一人前にするには必須です。今のストレスを少くして減らして育てるのは子育てと同じです。甘やかすだけでは一人前にはなりません。

**平和** 今多くの人々が心痛めているのか？ ウクライナ問題です。豊かな土地で小麦等豊かな総りがある国であるのに、戦禍のもとでは農作業等できるはずはありません。私は種まきをしながら、平和の大切さを強く想います。古いの人々が望んだ平和の理想として国連の内輪にも核められているという、次の言葉が、大きく迫ります。

「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒めらる

彼らは剣を打ち直して鋤（スキ）とし

槍を打ち直して鎌（カマ）とする

（旧約聖書）

「国は国に向って剣を上げず、もはや戦うことを学ばない」

戦う武器でなく、農具を多くしてお互いの国を豊かにするという平和の理想が、ふみにじられる悲しさを感じる。今こそこの言の実現を祈る。旧も早く戦いが終り、野良で、精一杯休める日を祈るのみです。

## 注文品

人参ジュース 200ミリ入 20本 4400円 1リ入 6本 5100円

うどん、太、細、3種あり 500g 500円、小麦粉 800g 入 400円、強力中力あり

玄米せんべい、ゴマ入り、しょう油、塩なしの3種あり、10枚入 370円

3~4月は青菜くき立ちのシーズンです、コマツナ、しんぼ菜、くまだら菜、白菜等

競って、茎のび花芽をのけます、冬に貯えた養分を出しているようです、

おいしく感謝していたらきたいものです。